

第1回古生物ワーキンググループ議事要録

古生物 WG の役目（設置規則参照）を確認し、目的意識の共有をするとともに、2月中旬に仙台で開催される STP への対応等が検討された（2008年2月6日 13:30～17:45；JAMSTEC 東京事務所）。

【古生物 WG の活動方針】

- (1)IODP フェーズにおける微古生物研究のニーズとチャンスを認識し、責務遂行にむけた問題発掘・改善提案を推し進めること、
- (2)STP や IODP-MI タスクフォースグループの活動を理解し、適切な対応をとること、を共通認識とし活動を進める。

【報告事項】

- (1)昨年 8 月に開催された Paleontology Coordination Group (PCG) meeting や Micropaleontology Reference Center (MRC) meeting で議論された、1)Taxa Name List (TNL)整備に関連した各 IO のデータベース開発状況、2)IODP-MRC の現状と課題等が報告された。
- (2)南海トラフの「ちきゅう」航海乗船者より、(1)船上環境はかなり改善され支援員は献身的であったこと、しかし、(2)文献の欠落などいくつか重大な課題が残ること、が報告された。

【協議事項:当面の課題】

上記報告をうけ古生物 WG は、

- (1)高知コアセンターや MRC の活用環境整備、
- (2)古生物分野乗船研究者マニュアル作成、
- (3)乗船研究者からのフィードバック体制構築、
- (4)乗船研究者確保(中長期を見据えたアウトリーチ活動を含む)におけるリーダーシップ、等を当面の課題として取り組むこととした。

【協議事項:STP ロードマップ(古生物、年代層序関係)への対応】

微古生物データの QA・QC と、科学的ニーズに伴う技術開発について議論がなされ、

- (1)船上研究環境(現状把握と設備改善、文献整備、各種データベースなど)
 - (2)ルーチン分析(機器や処理手順の標準規格明示など)
 - (3)技術開発(処理・観察法開発、各種自動化、変質進行速度の速い試料等の品質管理等)
 - (4)技能継承・向上体制構築(教育標本整備、トレーニング機能強化等)
- などの課題が指摘・認識され、STP で適切に対応できるよう準備することとなった。

【行動計画】

実行項目1:古生物分野乗船研究者マニュアル作成

古生物 WG は古生物分野乗船研究者マニュアルの作成を科学計測部会に提案する. 実行者:共同議長. 期限:次回科学計測部会.

実行項目2:船上設備・支援体制の掌握

古生物 WG は, (1)設備・機器の改善状況についての報告, (2)船上実験室設備・機器・消耗品等情報の開示, を関係機関に求める. 実行者:共同議長. 期限:次回古生物 WG.

実行項目3:陸上設備・支援体制のニーズ掌握

陸上設備の活用の際し, どのようなニーズと活用案があるのか, 情報を収集し整理する. 実行者:古生物 WG 全委員. 期限:次回古生物 WG.

実行項目4:MRC 活動方針の掌握

古生物 WG は, 国内の MRC に対して, IODP フェーズにおける活動方針(標本収集計画, アウトリーチ活動, 活性化案等)について照会する. 実行者:相田委員(MRC リエゾン). 期限:次回古生物 WG.